

新庁舎の基本設計を策定しました

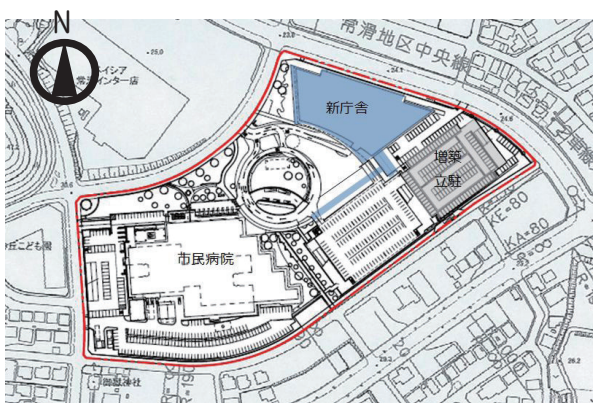


▲図左側にある建物が新庁舎

市では、老朽化が著しい市役所庁舎を平成32年度末までに、市民病院東側の敷地へ移転新築することとしています。
このたび、新庁舎の構造・規模、機能などの基本的な内容を決める「基本設計」をまとめましたので、その概要をお知らせします。

施設の配置

市民病院からロータリーを挟んだ東側敷地に新庁舎を建設します。
また、既存立体駐車場の東側に立体駐車場を増築して、病院と相互利用できるようにします。



フロア構成

近隣の住宅や病院の療養環境に配慮した低層4階建ての建物（延床面積1万400㎡）です。病院玄関と同じ高さの2階をメインフロアとしています。
窓口部門や建設部門などの市民に関わる部署を2階に集約させることで、市民サービスや事務効率の向上を図ります。

防災対策

- ・南海トラフ巨大地震にも対応できる免震構造を採用します。
- ・有事の際には災害対策本部、危機管理センターとして機能させます。
- ・ライフラインが途絶した場合に備え、井戸・貯水タンク・非常用発電設備（重油・3日間以上）などを備えます。

環境・維持管理費

- ・吹き抜けを設け、自然換気を促すことで光熱水費を削減します。
- ・省エネ効果に優れた設備や機器を導入し、維持管理費の低減を図ります。

事業費・財源

約68・2億円
※平成30年5月時点の庁舎本体工事費、立体駐車場増築工事費や備品購入費などの総額
財源は、市庁舎整備基金や国の財政支援がある地方債（緊急防災・減災事業債）などを有効に活用します。



▲詳しくは、市ホームページをご覧ください。

事業スケジュール

今後は、基本設計をもとに詳細な実施設計を行い、平成32年度末までの庁舎建設工事の完了を目指します。

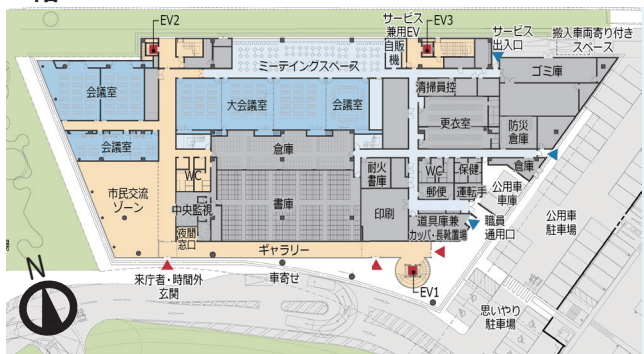
	2018年度 (H30年度)	2019年度 (H31年度)	2020年度 (H32年度)	2021年度 (H33年度)
基本設計	→			
実施設計		→		H33.3 工事完了
新庁舎建設工事		H32.1 工事開始	→	
立体駐車場工事		→		
供用開始				→

問合せ 施設マネジメント課
TEL 47・6141
FAX 35・4329
Eメール chosyaseb@city.tokoname.lg.jp

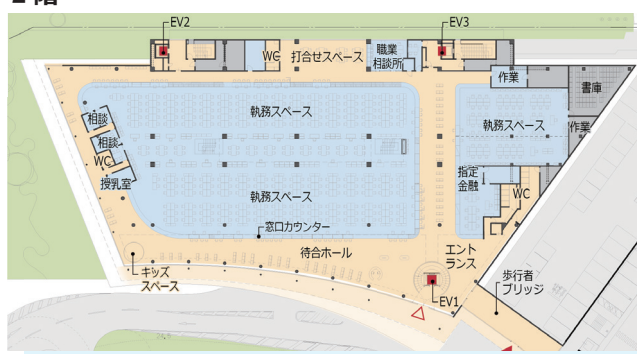
新庁舎建設だより⑨

▼平面計画図

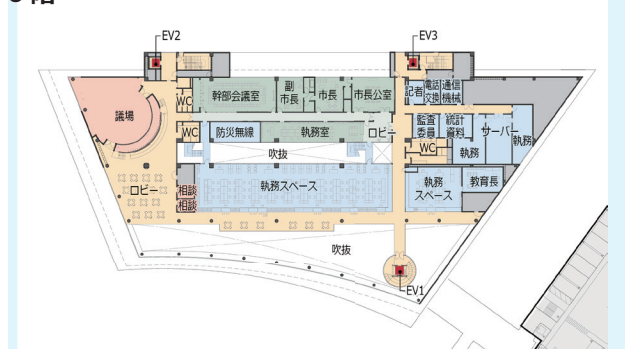
1 階



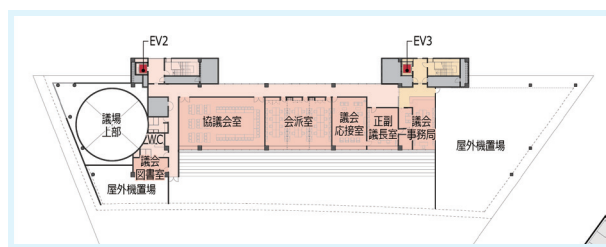
2 階



3 階

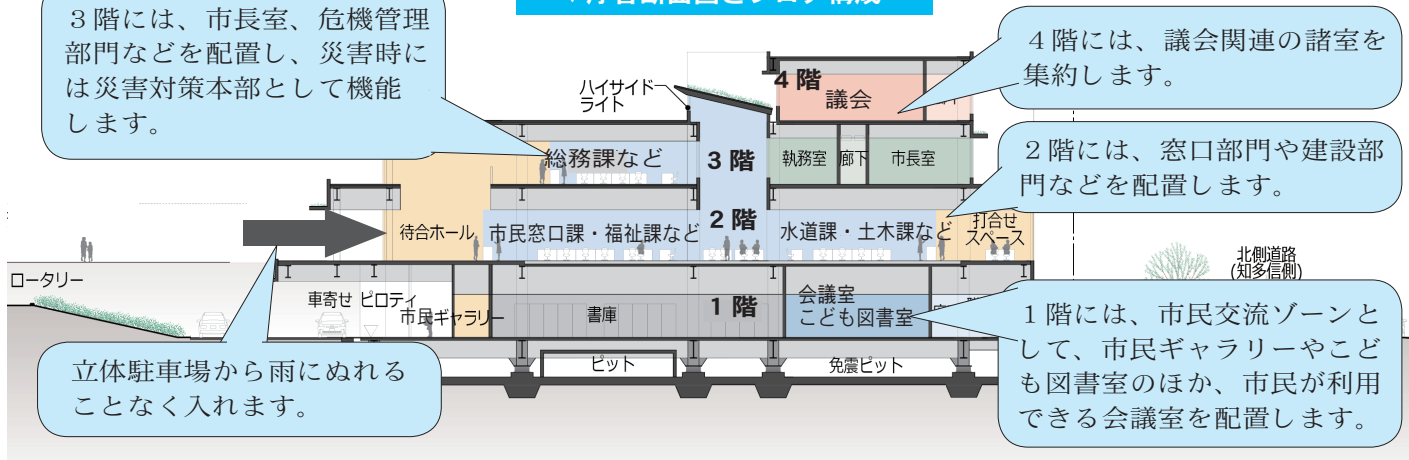


4 階



※今後の実施設計の中で、さらなる事業費削減に向けて、平面計画などが変更になる場合があります。

▼庁舎断面図とフロア構成



新庁舎Q&A



Q 現在の庁舎では地震に耐えられないの？

現庁舎は、愛知県内の市で唯一、震度6以上の地震で倒壊する恐れがあり、開庁時間中に発災すると来庁者や職員に死傷者が出る恐れがあります。また、津波による浸水や液状化の恐れがあるため、災害時に復旧復興の拠点として機能しないと考えています。

Q 事業費68・2億円は高いの？

床面積は、現庁舎とほぼ同じで、人口が同程度の都市と比較してもコンパクトです。建築単価は他市の実績を基に算出しています。

しかし、近年の人手不足や建設資材の高騰により工事費は増加傾向にあります。今後、事業費の抑制に努めていきます。

Q 2027年度末までに

建てようとしているの？

いつ起きてもおかしくない大地震に備えるためです。

また、元利償還金について国からの交付金がある、市に有利な地方債「緊急防災・減災事業債」を期限内に活用するためです。

Q 市の財政は大丈夫なの？

他の公共施設の新築・改修を計画的に進めつつ、現状の市民サービスを下げることなく財政運営が可能と考えています。